コーパスに基づく言語学教育研究報告 4

コーパスを用いた 言語研究の可能性Ⅱ

峰岸 真琴、稗田 乃、早津 恵美子、川口 裕司(編)



コーパスに基づく言語学教育研究報告 4

コーパスを用いた 言語研究の可能性 II

峰岸 真琴、稗田 乃、早津 恵美子、川口 裕司(編)

目 次

| | 学長挨拶 | 亀山 | 郁夫 | i |
|----|--|-----|-----------|-----|
| | コーパスに基づく言語学教育研究拠点 | 峰岸 | 真琴 | iii |
| 1. | 論文 | | | |
| | 近世日本語の事態描写にかかわる二字漢語サ変動詞語幹の 名詞用法について―名詞句の構文・意味的考察を中心に― | 佐藤 | 佑 | 1 |
| | 近世後期の江戸語資料における副詞『よほど』の使用の 実態調査 | 茶谷 | 恭代 | 21 |
| | 「大きい」の多義性―連語論的観点から― | 福原 | 聡美 | 39 |
| | 「V シテイク」「V シテクル」の語彙化(lexicalization)について | 中山 | 健一 | 65 |
| | ニ格の名詞と自動詞とのくみあわせ 一連語のタイプの間の関係を中心に一 | 李 | <u>v</u> | 87 |
| | モノ・コト主語の使役文における,原因と結果の種々の ありかたについて | 崔王 | 湍暎(チェソヨン) | 113 |
| | 中級日本語学習者の動詞と名詞のコロケーション 一産出テストによる分析 | 鈴木 | 綾乃 | 135 |
| | 中国語の動補構造 "V 得 A" の意味について | 山根 | 史子 | 161 |
| | 中国語の可能表現について 一実現可能を表す"没能 VC"と"没 VC"をめぐって | 渡邊 | 奈津子 | 181 |
| | 副詞"正"の《红楼梦》における用法について 一近現代文学作品と比較して | 李 | | 199 |
| | 中国語の可能性の意味を表す〈V不了〉 | 福田 | 翔 | 213 |
| | ラオ語ビエンチャン方言の声調の音響音声学的分析 | 柳村 | 裕 | 237 |
| | コーランにおける否定動詞 laisa の用法 | 榮谷 | 温子 | 259 |
| | 現代ロシア語における内的可能性を表す形式と 体のカテゴリーの意味・機能との関係に関する一考察 | 阿出力 | 修嘉 | 277 |
| | ポーランド語の否定詞 "nie" と是認詞 "tak" 一自然会話における使用について— | カチマ | マレク ミロスワバ | 299 |
| | フランス語学習者スピーキングコーパスの構築とその分析 一フィラーと中性代名詞を中心に— | 杉山 | 香織 | 313 |
| 2. | 研究ノート | | | |
| | 「受動態+テイル」についての一考察 —「受動態+テイル」をとる動詞について— | 金 | 英南 | 329 |
| | | | | |

| 現代日本語における非情物主語受動文の構文的なタイプ |
|-----------------------------|
| 2000 年以降の現代小説におけるオノマトペの使用実態 |
| モンゴル語の補助動詞《ab-》の意味について |

プ ナオサラン アーパーポーン 351 黄 慧 373 スチンガルラ 389

索引 401

資料

国際会議・ワークショップ

講演会

研究会

合同ゼミ

出版物

1. 論 文

2. 研究ノート

資 料



コーパスに基づく言語学教育研究報告 4 2010 年 3 月 8 日発行 コーパスを用いた言語研究の可能性 II

発 行: 東京外国語大学大学院総合国際学研究院

グローバル COE プログラム

「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」 〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

編 集: 峰岸真琴、稗田 乃、早津 恵美子、川口裕司

編集・校正: 菅原 純

印 刷: 日本ルート印刷出版株式会社

コーパスに基づく言語学教育研究報告 4

コーパスを用いた言語研究の可能性Ⅱ

峰岸 真琴、稗田 乃、早津 恵美子、川口 裕司(編)

グローバルCOEプログラム「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」 東京外国語大学(TUFS)大学院総合国際学研究院